

職員による自己評価

A環境面

- ・空気清浄器を1階、2階に各1台設置、弱酸性専用加湿器を各フロアに設置。
- ・密を避け、1階2階に分かれて、食事や室内遊びを行っている。
- ・食事の際、テーブルの間にパーテーションを設置し、スタッフはゴーグル・フェイスシールドを着用する事で、飛沫感染対策を実施。
- ・1時間に1度換気を行い、こまめな手洗い・うがい・手指消毒や、テーブルなどの除菌を徹底している。

B児童への支援内容

- ・子ども達が楽しく活動できる様、行事毎の活動を大切にしている。
- ・支援計画をスタッフ間で共有し、様々な活動や支援に生かしている。
- ・集団でできる活動を取り入れ、ルールや社会的を身に付けられる様、支援している。
- ・地域の公園へ散歩に行き、ボールやその他の遊具を用いて、身体を動かす様にしている。

C事業所からの情報発信

- ・日々の出来事を、連絡帳や送迎時に保護者に伝え、細かな連携が取れる様にしている。
- ・重要な事は、連絡帳だけでなく、電話やメールを利用して、確認する様にしている。

D非常対応

- ・新型コロナウイルス感染の疑いがある場合、行政（保健所等）への連絡。
- ・月に1度程度、地震や火災などを想定した避難訓練の実施。

保護者による評価

A環境面

- ・毎回訪れる度に物の配置が変わっていて広く感じる。
- ・限られたスペースをどうしたら広く使えるか考えているかがわかる。

B児童への支援内容

- ・子どもの心配事などにも配慮している。
- ・モニタリングで日常の様子や課題を話し合い、前回の計画が評価修正され継続する点、新たな課題がわかりやすく支援計画で示してある。
- ・コロナで出来ない事も多いが、その様な中でも楽しめる事を考えて活動していると思う。
- ・行事の製作も毎年違う製作で持ち帰ってくるのを楽しみにしている。

C事業所からの情報発信

- ・連絡帳でのやり取り、心配事などは電話での対応で共通理解が出来ている。
- ・細かいことも連絡帳に書いてもらっているので配慮されている。
- ・連絡帳等で子どもの様子や課題を伝えしているし、デイサービスでの状況も細かく書いてくれている。
- ・コロナ禍なので直接情報共有は（コパンサロン）現在出来ないが、定期的なお知らせなどはある。（コパンだよりが良いと思う）

D非常対応

- ・息子がやっていると言っている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・限られたスペースで工夫しながら、過ごす事が出来ている。
- ・個別支援計画に沿って、支援が固定化されないようにしている。
- ・事業所とご家庭で、様々な方法で、密に連絡を取る事が出来ている。

【相違点】

- ・避難訓練実施の際は、連絡帳にてお知らせしているが、具体的にどのような事を行っているかまでは周知されていない様子。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・1階、2階、カーテンで仕切られたベッドルームといった様々な場所を利用し、児童が落ち着ける、または気持ちを切り替えられる空間を提供する事が出来る。現在は、感染対策としても、これらの場所を上手く活用し、密を避けて安全に活動する事が出来る。
- ・電話やメールを利用して、保護者と直ぐに連絡が取りやすい環境を作り、事業所とご家庭での情報共有や、密な連携を取る事が出来る。
- ・コロナ禍で出来る活動が限られる中、近隣に多数の公園があるため、さまざまな場所に散歩に出かけ、季節を感じながら体を動かす事が出来る。

事業所の改善点

- ・コロナ禍が続くことを想定し、感染対策を徹底しながら、活動の幅を可能な範囲で広げていく。

～事業所の改善への取り組み～

- ・今後も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ご家庭、学校共にイレギュラーな生活が続く事が考えられる為、これまで以上にご家庭や学校、行政との連携を大切にしていく。
- ・今まで行っていた直接情報共有、意見交換(コパンサロン)が出来なくなっている分、連絡帳や電話等、個々での連絡をこまめに取るように心掛けながら、迅速な対応が取れる様、職員間でも情報共有に努める。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

時代に合わせ、より安心して安全に過ごせると同時に、また行きたい！と思える様な事業所でありたいと職員一同願っております。

子どもたちにとっては『楽しい居場所』、保護者の皆様からは『安心して預けられる居場所』を目指し、今後も努めて参りますので、日頃感じた事がございましたら、お気軽にご意見、ご相談ください。

事業所名 コパン万騎が原

担当者 山口 小百合